

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 函館大庚会	代表者	今 均	法人・ 事業所 の特徴	家庭的な雰囲気を大切にし、ご利用者さんとスタッフが「今日」、「今」を大事に毎日笑顔で過ごしています。その日の活動内容は利用者さんの要望を伺いながら実施しています。また積極的に外へ出掛け、季節を感じていただける様にも支援しています。小回りの利く臨機応変な対応が出来るチームワークの良さが我々の武器です。					
事業所名	小規模多機能ハウスこん	管理者	片岡 新之助							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	1人	3人	人	1人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	◇事業所として目指すべき方向性を全スタッフで常に確認、共有しながらチームとして個別の改善計画をしっかりと進めていく。	◇スタッフで意見を出し合いチームとして事業所を良くしていくように取り組んでいた。	◇スタッフ全員で個別評価に取り組み、事業所自己評価でも出席できるスタッフが参加できており、取り組めている事が確認できた。	◇これからもスタッフ間での情報共有などを密にしながらチームとして改善計画を達成できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	◇今年は新型コロナウイルスの影響で地域の方たちが参加できるイベントなどが開くことが出来なかった。事業所として感染症対策をしっかりと今後コミュニティーホールの利用の仕方や地域の方との交流方法などを考えていくたいと思います。	◇今年度は新型コロナウイルスの為に地域の方と一緒に行なうイベントなどは開催することが出来ませんでした。コミュニティーホールなどは感染対策を考慮しながら、使用する事も出来た。	◇事業所は利用者様にとっては居心地が良い空間になっていると思うが、感染対策の為に事業所内の状況があまりわからない。	◇今年は新型コロナウイルスの影響で地域の方たちが一緒に参加できるイベントなどが開くことが出来なかった。事業所として感染症対策をしっかりとコロナの感染状況などを考慮しながら、今後コミュニティーホールでの地域の方との交流方法などをどのようにしていかれるかを考えていきたいと思います。
C. 事業所と地域のかかわり	◇小規模多機能型のサービスがどの様な物かを地域の方たちに知ってもらえるような取り組みをし、感染対策などの情報を共有し地域の方と連携と取っていくたい。	◇地域の方に小規模多機能のサービスについてのパンフレットを渡したり情報を発信する事は少し出来ていた。	◇小規模のサービスが詳しくはどのような物なのかなど地域の方にあまり知られていない。	◇小規模多機能型のサービスがどの様な物かを地域の方たちに知ってもらえるような取り組みをして、地域との情報の共有などを、コロナ禍でも継続できるような方法を考えていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	◇利用者の方が地域で暮らせるように引き続き地域とのかかわりを意識した取り組みをしていく。地域の資源をどの様に生かせるのかを考えていく。	◇今年度はコロナウイルスのため利用者さんが地域のイベントなどに参加する事ができませんでした。 利用者様以外の地域の方の情報などが少なく地域の資源を生かすことが出来なかった	◇包括支援センター等と連携を強化して地域の情報などを共有し連携する事で利用者様の地域がかかわりをもてるよう支援していきたい。	◇利用者の方が地域で暮らせるように引き続き地域とのかかわりを意識した取り組みをしていく。地域の方や包括支援センターなどとも情報の共有を行いつつ利用者様を支援できる様に考えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	◇今度も新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたら運営推進会議や地域の方に参加してもらってのイベントなどを実施していきたい。利用者さんが地域のイベントなどにも参加できるようにしていきたい。 運営推進会議などで地域の方との情報の共有をし地域との交流を深めていきたい。	◇コロナウイルスの為、地域の方たちが参加できる様なイベントを実施することは出来ませんでした。 地域との情報共有や交流が減少してしまったので、情報の共有方法の改善が必要。	◇コロナウイルスの感染対策にために運営推進会議なども地域の方が参加する事が難しくなってしまった。	◇今度も新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたら運営推進会議や地域の方に参加してもらってのイベントなどを実施していきたい。それ以外にも運営推進会議など以外でも地域の方との情報の共有をする方法などを模索し地域との交流を深めていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	◇地域の方に防災訓練に参加してもらい、事業所も地域の防災訓練に参加し、火災だけではなく色々な災害に対して地域と連携してどの様に対応していくかなどを考えていきたい。	◇今年度は防災訓練などにも地域の方の参加はコロナウイルスの為出来ませんでした。火災以外の災害についての訓練などをする事は出来ました。	◇事業所として防災、災害時に町会の方たちとの連携を今後も継続していきたいと思います。	◇地域の方が防災訓練に参加してもらえるようにしていき、事業所も地域の色々な災害に対して地域との様に連携して行動する事や情報の共有などをどの様に対応していくかなどを考えていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡(安藤) 夜勤(日景)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

情報共有者は口頭のみでなく、ノートにも記載し又、ノートの読み落としがないように気をつけながら行い、些細な事も共有し、より良いケアを利用者に提供できる様に務める。

前回の改善計画に対する取組み結果

継続的な連絡ノートの活用による情報確認・共有が出来ているも、まだ不十分な所もある為今後も責任を持った情報の発信を行いスタッフ間の連携強化に努める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	8	2	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	5	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	1	8	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	3	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前の情報の確認と情報共有の為の連絡ノートの活用を行っており、連絡ノートではわからないことはCMや他スタッフ等に聞くなどして情報の変化に対応しスタッフ間でのコミュニケーションが取れている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

情報の変化、変更したときなど連絡ノートへの記入漏れや伝達ミスがある。
全スタッフが共有来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

情報の発信は一方通行にならないように一人一人が責任を持ち、どう受け止め理解しているのかまで確認できるよう、スタッフ間の連携を強化する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年1月26日(15:00~16:30)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡(安藤) 夜勤(日景)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画	ケアプランの把握はもちろんの事担当者を中心に情報をまとめ具体的な支援や提案をカンファレンスやノートを活用しスタッフ全員へ発信をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランの把握、支援、提案をスタッフ全員へおおむね発信できていたと思うが思うように行動に移せないところがありました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	3	6	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	2	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか?	1	6	3	0	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	0	7	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること カンファレンスで話し合い支援や介助の改善案を上げできるだけ本人に自力で行ってもらえるように支援できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の望んでいる事、やりたい事の実行に移すことが日々の業務で忙しい事やコロナ禍の為出来ていなかったと思う。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ケアプランや日常での支援の過程を都度スタッフ同士で情報を確認しあい、本人の望んでいることをカンファレンスを通してスタッフで相談をして支援を提供していきたい。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡（安藤） 夜勤（日景）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画	以前の暮らし方などについて本人やご家族等と積極的にスタッフ一人一人が情報を収集しその情報をスタッフ間で共有することにより、日々変化をしていく利用者様の変化などに対応できるようにし、スタッフ間でのケアのバラツキを少なくして支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ間の情報共有、話し合いによって、日々の変化にも臨機応変に対応を行っている。 同じ方向性を持ち対応することで、ケアのバラツキを情報、アイディアとして発信強化につなげる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	1	8	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	1	8	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならないう音をチームで言語化できていますか？	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	8	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	8	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者一人一人の心身の状況など、日々の変化に対応する為スタッフ間で話し合い臨機応変な対応をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報の共有が曖昧なため、スタッフ間の捉え方が不十分な事もあり、支援のバラツキがみられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフの経験値によって対応にバラツキがみられるも、そのことを強みにして日々のケアの中から感じ取れる情報やアイディアなどを積極的に発信していくことで、同じ方向を持った良いケアに繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡(安藤) 夜勤(日景)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	4人	0人	10人

前回の改善計画	利用者様、ご家族様とコミュニケーションをとることにより信頼関係を築いていき情報を収集して利用者様の新しい情報をケアに活かし、ご家族様だけではなく利用者様の近隣の方やご友人の方たちとの今までのコミュニティーを意識した支援を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	会うことのできるご家族様とは良好なコミュニケーションを築けており何気ない日常会話の中で自宅での様子やハウスでの様子を伝えケアに活かしている。近隣の方や友人とは現在コロナウイルス対策の為接触しにくい状況になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	3	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	6	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	7	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	送迎時に合うことができるご家族様とは日常会話でコミュニケーションをとることができている。 連絡ノートや会話で自宅での様子や生活スタイルを理解することができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域での暮らし関係のつながりを理解していなくうまく活用できていない。 新型コロナウイルスの影響もあり、地域での活動にも参加しにくくなっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	これまでよりもご家族様とのコミュニケーションを密にして何気ない会話から少しづつ信頼関係の構築を目指す、そして地域へのつながりへと広げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡（安藤） 夜勤（日景）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	3人	1人	10人

前回の改善計画	地域資源についての理解不足があるのでどのようなものがあり、どのように利用者様に活用できるのかを考え情報を収集していく。利用者様の変化など日々のケアの中で気づいたことをスタッフ全員が積極的に発言をしてスタッフ全員で話し合いより良いケアに繋げるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の変化などは各スタッフが日々のケアの中で気づいた事を担当者中心に積極的に情報共有しスタッフで話し合いより良いケアにつなげる事ができていた。地域資源についてはコロナの影響もあり地域にどのような資源があるかの理解は不足している為資源の活用は活発にはできておりませんが地域の多職種の会社などからタオルや衣類の提供などをいただきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	3	5	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	9	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	0	9	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族などからの急な要望や緊急性を要する利用の変更などはご家族と相談しながら対応できていると思う。利用者様の日常での変化などもケアの中で気づいた事やご家族から聞いた利用者様の自宅での様子の変化などをスタッフ間で情報共有してより良いケアが出来るように意見を出すことが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の活用などはなかなかできていない現状です。地域資源の理解不足やコロナウイルスの関係で地域資源などを使えなかった。出来る限り柔軟にサービスを提供して行けているがスタッフ人数なども少なく難しい所も出てきている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源の理解を深め、活用できる、出来そうな場面を考え、活用できるときは積極的に取り組む。利用者様の変化や日々のケアなどでの情報共有はできていますがより良い情報共有のしやすい環境を日々目指して、ケアの向上に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年1月26日(15:00~16:30)
6. 連携・協働	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡(安藤) 夜勤(日景)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	8人	2人	10人

前回の改善計画	今回はコロナウイルスの為地域の方が参加できるイベントなどを聞くことができなく、ホールの貸し出しあり難く利用者様と地域との交流ができない状況でした。このような状況でもできるような交流や情報の発信などを考えることが必要と思われる。
前回の改善計画に対する取組み結果	今回もコロナウイルスの為地域の方たちが参加できるイベントなどを聞くことが出来ませんでした、コロナウイルス感染防止の為ハウス内での利用者様とのイベントなどは出来たが、地域に向けての情報発信は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	5	5	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	1	9	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	7	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	3	7	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
面会に来られる方などその時の感染状況を見ながら感染対策をしたうえで面会などの対応は出来ていた消防訓練も地域の方は参加する事ができませんでしたが消防の方に参加してもらい開催する事が出来た。地域の方の参加のイベントは出来なかったがハウス内でスタッフが工夫してイベントなどをする事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルスの為、地域へのホールの開放や地域の町内会や保育園などの地域の交流をすることができなかった。感染予防を考えながら地域との交流などができるかも知れないが具体的にどのようなことができるか考えて動くことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今回もコロナウイルスの為に以前のような地域との交流ができなかつたので、現在の感染状況などを考慮しながら感染対策をきちんとしながら、消防訓練などできているところは継続していき地域との関係が途切れないように交流の仕方を考えていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
7. 運営	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡（安藤） 夜勤（日景）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	1人	2人	7人	10人

前回の改善計画

今回は地域の方との協働した取り組みがコロナウイルスの為できませんでした。地域の方の意見を聞くための取り組みや地域との連携をしていく方法をいろいろ考えていくように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

今回もコロナウイルスの為に地域の方からの意見を聞くことなどの取り組みを積極的に考えることができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	4	1	5	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	1	3	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	3	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	1	3	6	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者家族などからの意見などは送迎時などに会う機会などに各スタッフが聞くように努めて、聞いた意見や苦情などをスタッフ間で共有し、話し合いより良い運営に反映していくことができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナウイルスの為に地域との関わりがなくなってしまい、地域の方たちとの協働した取り組みができない地域の方々の意見を聞く機会がなくなってしまいました。このような状況下での地域との情報共有の仕方などを考えることができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者様やご家族様からの意見や苦情などを各スタッフが積極的に聞き聞いたことなどをスタッフ間で話し合い共有するなど現状できていることは継続をしていき、各自が感じたことや、思ったことなどを事業所のより良い運営の為に意見を言うことができるよう意識を持って行動して行けるように改善していきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年1月26日(15:00~16:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡(安藤) 夜勤(日景)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	2人	2人	10人

前回の改善計画

研修に参加できる機会が減ってしまったが、新しい研修の形態などもありスタッフが色々な研修に参加できるような体制を整え、研修のフィードバックの質を高めスタッフ間で共有、実践してスキルアップをしていく様にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修などオンラインでの形態に変化してスタッフなどが研修に参加できるようになり参加した研修などをフィードバックできているがフィードバックの質については改善が必要と思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	0	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	3	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	8	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	8	0	2	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

オンラインでの研修などに変化したことにより各自が時間のある時などに参加することなどができる。ヒヤリハットなどを活用してリスクマネジメントを行い同様なことが起こらないように改善策などをスタッフで考えることができている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

オンラインでの研修などがある中でどのような研修があるかなどを調べることができていなかったため研修機会を逃していることもある。リスクマネジメントにおいてもスタッフ間でのヒヤリハットへの意識の違いがありあやふやになってしまっていることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

研修がオンラインになり参加はしやすくなっているので、スタッフが色々な研修に参加できるような環境を整え研修への参加ができるような環境にしていき研修のフィードバックの質を高め事業所としてのスキルアップを目指し、リスクマネジメントの為にヒヤリハットなどを出せるような環境を改善する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月26日 (15:00~16:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	浅田、海老田、豊川、冷田 上木、佐藤、野田、片岡（安藤） 夜勤（日景）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画

利用者様への言葉づかいやプライバシーへの配慮を意識してケアをしていき、スタッフ間で注意できるような環境にしてスタッフ間で話し合い連携をしていくように取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様へのプライバシーへの配慮に意識してケアはできているが、言葉づかいは急な時などにはできない時もある。スタッフ間で注意できる環境がうまくできていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	1	9	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	1	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	8	1	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束など行はれてはいない。利用者様のプライバシーに関しても配慮したケアがおおむねできていると思われる。利用者様への言葉づかいも気を付けて対応できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者様への声がけなどが、時々忙しい時などスピーチロックになってしまっていることがある。プライバシーに関しても気を付けていますが利用者様の相談などを適切な場所でできていない時もある。配慮に欠けた対応に関してスタッフ間で注意できる環境ができていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用者様への言葉づかいやプライバシーの配慮についてはこれからも注意しながらケアをしていく、スタッフ間で不適切なケアなどについても話し合い注意できるような環境がまだきちんとできていないので、スタッフ間の意識の改善をして注意していくように改善していく。